

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	道路橋梁総務事務事業					事務事業コード	01801
部 名	都市建設部	課 名	道路整備課	係 名	道路管理係	部課コード	050400

1. 事業概要

総合計画コード	5221	5231		
事業年度	年度 ～ H	年度	事業類型	●ソフト事業 ○ハード事業
法令等の義務付け	○ 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 ○ 義務と任意の両方を含んでいる事業 ● 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)>	
めざす 目的成果	課の総務的な事務を滞りなく行うことによって、各事業が計画的かつ効率的に実施できている。			
事業内容	課内調整事務(旅費・共通消耗品・公用車の管理)			
事業手法	☒ 市の完全な直営 ☐ 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) ☐ 市民等との協働 ☐ 補助金交付 職員が直接事務処理を行う			

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容			・共通消耗品・公用車の維持管理 ・各種保険料の支払い						
単位:千円			H26年度決算		H27年度決算		H28年度決算見込		
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		4,063		3,828		4,328		
	財源内訳	[イ]国庫支出金							
		[ロ]県支出金							
		[ハ]地方債							
		[ニ]その他							
		[ホ]一般財源	4,063		3,828		4,328		
	b 人件費		2,565		5,496		7,694		
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		6,628		9,324		12,022			
投入労働量		常勤職員等(人工)		0.35 人		0.75 人		1.05 人	
		一般職非常勤職員等(時間)		時間		時間		時間	
a 事業費 (H28年度決算見込)の執行内訳		旅費 40千円 需用費 1,284千円 [(内訳) ・消耗品費 759千円 ・燃料費 361千円 ・備品修繕料 164千円] 役務費 692千円 使用料及び賃借料 2,264千円 負担金、補助及び交付金 47千円 補償、補填及び賠償 1千円							
指標名			単位	H28目標・計画	H29目標・計画	H30目標・計画	最終目標・計画		
				(H28実績見込)	(H29実績見込)	(H30実績見込)	目標年度		
活 動	①	道路賠償責任保険対応件数	件	0 (1)	0 (—)	0 (—)	H	30 年度	
	②			()	(—)	(—)	H	年度	
成 果	①	ボランティア保険加入団体数	団体	20 (19)	21 (—)	21 (—)	H	30 年度	
	②			()	(—)	(—)	H	年度	

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	☐ A 必要性が高い	☒ B 必要性がある程度認められる	☐ C 必要性が低い
	☐ 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される ☐ サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている ☐ 法令等により、市に実施が義務付けられている ☐ 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる ☐ 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい ☒ その他 <説明> 市の管理する道路について、道路あるいは道路管理の管理瑕疵により生じた事故により、通行者などの財物の破損が生じた場合等に、市が道路管理者として国家賠償法等法律上の賠償責任を負担することにより支払わなければならない損害賠償金等を保険料として支払う必要がある。また、道路美化活動団体の活動中に生じた事故について負担する損害賠償責任及び障害を担保とする保険に加入する必要がある。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	☐ A 目標よりも大きな成果が得られた	☒ B 概ね目標の成果が得られた	☐ C 目標とする成果が得られなかった
	☐ 活動指標の目標を達成した ☐ 成果指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 道路パトロールを定期的実施することにより、管理瑕疵による事故の発生が少なかった。 また、事故発生時においても保険を適用することにより、円滑に対応することができた。 道路美化団体に対し、依頼どおりの物品支給ができた。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり:道路美化団体が、活動中に発生した事故に対する保険に加入した。 参加と協働:ボランティア団体と行政が協力して、快適で美しい道路環境づくりを推進した。 経営的な視点:道路管理の瑕疵による事故の賠償に備え、道路賠償責任保険に確実に加入した。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	☒ I 見直す余地がない	☐ II 見直す余地がある程度認められる	☐ III 見直す余地がある
	☐ 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある ☐ 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある ☐ サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある ☐ 受益者負担のあり方について見直す余地がある ☐ 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある ☐ 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある ☐ その他 <説明> 職員が直接事務処理を適切におこなっている。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	☒ A 市で継続実施 ☐ B 休止・廃止 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ C 民営化 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ D 国・県に移譲 (実施時期: ☐ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から) ☐ E 終了 (実施時期: ☐ H28年度まで ☐ H29年度まで ☐ H30年度まで)			
	成果の方向性	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小		
今後の取組方針	投入資源の方向性	事業費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		労働費	☐ A 拡大 ☒ B 現状のまま ☐ C 縮小	
		☐ A 見直して継続 ☒ B 現状のまま継続		
	見直しの方向性	☐ 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ 業務プロセス改善 (実施時期: H 年度) ☐ 対象・水準等の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 受益者負担の見直し (実施時期: H 年度) ☐ 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期: H 年度) ☐ その他 (実施時期: H 年度)		
		方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)		
本市の財政状況を勘案し、引き続き経費の抑制に努めながら、計画的に総務事務を行う。				